

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H23	8	養殖施設	H25	R1	ワカメ・コンブ・カキ・ホタテ・アワビ 601.2トン	ワカメ・コンブ・カキ・ホタテ・アワビ 432トン	ホタテ・カキは概ね計画通り生産できたものの、コンブは3月の大雨による真水の被害があり計画の66%、ワカメは施設台数が30台から20台に縮小したこと及び高水温による生育不良により計画の38%、アワビは実績なしとなっており目標を下回った。 (達成率72%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回、目標を下回る結果となったことから、事業実施主体に対し、養殖生産量の回復に向け、指導を実施していく。
H23	24	ふ化施設	H25	R1	①生産尾数 12,000千尾生産 ②安定的な水量 (毎分20t以上)確保 シーズン中の最大使用 水量 ③1日最大採卵数 1,500千粒以上	①生産尾数 13,360千尾 ②安定的な水量確保 毎分28t ③1日最大採卵数 2,213千粒	①生産尾数(第3孵化場) 海域でのサケは水揚げ不漁となっているが川の遡上には影響なく計画どおりの生産量が出来ている。 (達成率111%) ②水量確保(第1、2孵化場) 稚魚飼育に必要な水量を安定確保できており、飼育量のピーク時には毎分28tの水量を使用した。 (達成率140%) ③採卵数(捕獲施設) 親魚の遡上状況が良好であることから、まとまった数量の採卵が可能となり、目標値を上回った。 (達成率148%)	施設の整備により、サケ放流体制が整い、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	25	水産物鮮度保持施設	H25	R1	年間給氷量 5,400トン	年間給氷量 960トン	スルメイカ及び秋サケをはじめとする幅広い魚種の不漁に伴い氷の使用量が減少したため、目標を大きく下回った。 (達成率18%)	施設の整備により魚の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 令和元年度は目標値を大きく下回ったが、スルメイカ及び秋サケをはじめとする幅広い魚種の不漁に起因するものであり、やむを得ないものと判断する。
H23	35	水産物荷さばき施設	H25	R1	市場年間水揚総量 2,500トン	市場年間水揚総量 1,624トン	秋サケの回帰率の低迷の影響により魚市場での取扱数量が減少しており、目標を下回った。 (達成率65%)	施設の整備により、魚市場機能が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 秋サケなど主要魚種の不漁により水揚総量が減少し、目標値を下回ったもので、やむを得ないものと判断する。
H23	36	作業保管施設	H25	R1	ウニ年間水揚総量 4,920kg	ウニ年間水揚総量 2,363kg	時化等により、水揚量が伸びず、また、震災後、漁家が本施設のある田の浜地区から他地区(船越)へ移動が多くなっており、目標を大きく下回った。 (達成率48%)	施設の整備により、ウニ等水産物の出荷作業が可能になり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回、目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、この施設を引き続き活用しながら、水揚量の増加に向け指導を実施していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	37	作業保管施設	H25	R1	5年間の総便益額 205,200千円	5年間の総便益額 165,970千円	天然ワカメの繁茂状況が悪く、開口されておらず、また、ホタテガイや養殖アワビについては別の作業保管施設を利用しており、ウニの生産額のみ便益となったが、ウニの漁獲・出荷が順調であったことから、概ね目標を達成した。 (達成率81%)	施設の整備により、ウニ等水産物の出荷作業が可能になり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後とも施設が有効に活用されることが期待される。
H23	38	作業保管施設	H25	R1	海藻加工品の年間生産量 1,100kg	海藻加工品の年間生産量 809kg	海水温の上昇の影響により天然コンブの繁茂状況が悪く開口されておらず、「干しふのり」のみの生産量となっているため、目標を下回った。 (達成率74%)	施設の整備により、海藻加工品の保管が可能になり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回、目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H23	39	作業保管施設	H25	R1	5年間の総便益額 165,500千円	5年間の総便益額 293,463千円	震災直後はホタテの半成貝を北海道の漁協から購入し養殖を行い、近年は死滅する半成貝が増えたが、自前で採捕した稚貝を用いるなど工夫しており、目標を大きく上回った。 (達成率177%)	施設の整備により、ホタテの一次処理が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後とも施設が有効に活用されることが期待される。
H23	40	特認事業(漁労等作業管理休養施設)	H25	R1	年間延べ利用人数 9,000人	年間延べ利用人数 8,874人	従前どおり、定置漁夫は30人、炊事婦は2人体制で事業を推進しており、概ね目標を達成した。 (達成率99%)	施設の整備により、自営定置の漁舎として、地域の水産業の復興に寄与している。 目標を概ね達成しており、今後とも施設が有効に活用されることが期待される。
H23	42	水産物鮮度保持施設	H25	R1	年間販売量 670t	年間販売量 340t	秋さけ漁や、イカ釣り漁等の不漁により、氷の販売量が減少したため、目標値を下回った。 (達成率51%)	施設の整備により魚の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。成果目標を下回ったことは、サケやスルメイカ資源の減少によるものであり、やむを得ないものであるが、年間販売量の増加に向け、引き続き指導していく。
H23	49	種苗生産・採苗施設	H25	R1	種苗生産数 23,500m	種苗生産数 11,598m	ワカメ、コンブの種苗は着業者が減少し種苗の需要が減少したほか、ホヤは、震災後の韓国輸出規制等の影響で着業者が減少しており、目標を大きく下回った。 (達成率49%)	施設の整備により、供給した種苗を用いて地域の養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し養殖用種苗の供給量の増大に向け、生産者の規模拡大や、ワカメ・コンブ養殖への新規参入の促進などを指導を実施していく。
H23	51	生産物一次処理施設	H25	R1	生わかめボイル 塩蔵加工 550t	生わかめボイル 塩蔵加工 472t	ワカメの生産量は、漁況により増減するため、30年度は減量となったが、概ね目標を達成できた。 (達成率86%)	施設の整備により、ワカメのボイル塩蔵加工場が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	52	陸上種苗生産施設	H25	R1	年間種苗生産数 150万個	年間種苗生産個数 150万個	毎年順調にあわび稚貝150万個を種苗生産し、次年度の放流に向けて蓄養が行われており、目標を達成した。 (達成率100%)	陸上種苗生産施設の整備により、アワビ種苗の放流を早期に再開し、切れ目のないアワビ資源造成に努力したことで、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	53	陸上種苗生産施設	H25	R1	アワビ種苗 120万個	アワビ種苗 120万個	計画どおりアワビ種苗の生産が出来ており、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により、震災前と同水準のアワビ種苗の放流が可能となり、地域の水産業の復興に寄与している。 目標どおりの種苗生産が実施されており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	56	放置艇収容施設	H25	R1	—	—	浮棧橋等の復旧により震災前と同様に利用が図られた。	施設(浮棧橋等)の整備の整備により、漁港の効率的利用と適正管理が図られ、地域の復興に大きく寄与している。
H23	81	水産物鮮度保持施設	H25	R1	年間取扱金額 183,800千円	年間取扱金額 309,623千円	水産物の鮮度保持に使用し、目標を大きく上回った。 (達成率169%)	施設の整備により魚の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	89	水産物加工処理施設	H25	R1	年間取扱量 2,700トン	年間取扱量 1,882トン	秋サケ等の原魚の不漁により、年間取扱量が減少したため、目標を下回った。 (達成率70%)	施設の整備により水産加工体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 令和元年度は秋サケ等の不漁により目標値を下回ったが、取扱量の増加に向け指導を実施していく。
H23	95	作業保管施設	H25	R1	大型定置網5ヶ統 漁網等の収納日数 箱網160日間 垣網160日間 小型定置網2ヶ統 漁網等の収納日数 箱網180日間 垣網180日間	大型定置網5ヶ統 漁網等の収納日数 箱網160日間 垣網160日間 小型定置網2ヶ統 漁網等の収納日数 箱網180日間 垣網180日間	当初計画通り漁具の保管が行われており、目標が達成された。 (達成率100%)	施設の整備により定置網の保管が適正に行われることで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	96	漁業作業軽労化機能整備	H25	R1	上架漁船隻数 90隻	上架漁船隻数 68隻	養殖業者が減少したため、上架する漁船が減少しており、目標を下回った。 (達成率76%)	施設の整備により、養殖業者の作業の軽労化が図られ、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、養殖業への新規参入の促進などを指導を実施していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H23	105	作業保管施設	H25	R1	養殖カキの年間水揚量 520千粒	養殖カキの年間水揚量 545千粒	新規就業者が1名加わったこともあり、順調に生産できており、目標を上回った。 (達成率105%)	施設の整備により、殻付きカキ等の出荷作業が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	106	作業保管施設	H25	R1	5年間の総便益額 94,300千円	5年間の総便益額 95,580千円	漁網漁具等を野積みすることなく保管することが可能となり、漁網等の寿命が延長したため、目標を上回った。 (達成率101%)	施設の整備により、自営定置漁具の保管可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	107	燃油補給施設	H25	R1	5年間の総便益額 93,500千円	5年間の総便益額 80,611千円	イカ釣り漁業等の沿岸漁船が減少し、また、燃料が、重油から軽油へ変更するなどしたが、目標を概ね達成した。 (達成率86%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短縮され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	114	水産物荷さばき施設	H25	R1	年間ワカメ取扱量 500トン	年間ワカメ取扱量 287トン	養殖業者の高齢化に伴う廃業等による生産量の減少及び加工場の従業員不足による取扱量が低下したため、目標を下回った。 (達成率57%)	施設の整備により、ワカメのボイル塩蔵加工場が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 生産者の減少等により目標値を下回っていることから、生産者の確保やワカメの生産性向上等について指導していく。
H23	115	水産物加工処理施設	H25	R1	年間塩蔵ワカメ生産量 136トン	年間塩蔵ワカメ生産量 282トン	販売量増加に対応し、一次加工数量の低下により原料不足を補うため前浜の共販品の買い戻しによる生産数量が増加したことから、目標を大きく上回った。 (達成率207%)	施設の整備により、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	118	水産物鮮度保持施設	H25	R1	製氷供給量 950t	製氷供給量 241.2t	震災後、岩手県沖でのイカ釣り漁が不漁続きとなっていること、海水温の上昇等で定置の秋サケ漁も不漁続きになっていること、併せて漁船漁業の刺網漁、カゴ漁も不漁で、製氷が販売不振となったため、目標を大きく下回った。 (達成率25%)	施設の整備により魚の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。成果目標を下回ったことは、サケやスルメイカ等の資源の減少によるものであり、やむを得ないものであるが、年間販売量の増加に向け、引き続き指導していく。
H23	119	燃油補給施設	H25	R1	燃油供給量 930キロリットル	燃油供給量 526キロリットル	震災後、岩手県沖でのイカ釣り漁が不漁続きとなっていること、海水温の上昇等で定置の秋サケ漁も不漁続きになっていること、併せて漁船漁業の刺網漁、カゴ漁も不漁で燃油が販売不振となっていることから、目標を下回った。 (達成率57%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短縮され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、更なる活用に向け目標を達成するよう指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	131	陸上種苗生産施設	H25	R1	アワビ種苗 120万個(30mm)	アワビ種苗 99.3万個(23mm)	大量斃死が発生し、採苗をやり直して種苗生産を行い、生産個数は概ね目標を達成したが、採苗時期が遅くなったためサイズは目標を下回った。 (達成率83%〔77%〕)	施設の整備により、アワビ種苗の放流を早期に再開し、切れ目のないアワビ資源造成に努力したことで、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、種苗の供給量及び供給サイズの達成に向け指導を実施していく。
H23	135	ふ化施設	H25	R1	さけ稚魚生産数 23,100千尾	さけ稚魚生産数 24,000千尾	毎年順調に稚魚生産を行っており、目標を上回った。 (達成率104%)	施設の整備により、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	136	ふ化施設	H25	R1	当組合ふ化場からの 平成25年稚魚放流尾数 20,000千尾	当組合ふ化場からの 平成25年稚魚放流尾数 19,200千尾	計画的な実施により、概ね目標値を達成した。 (達成率96%)	施設の整備により、サケ放流体制が整い、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	137	ふ化施設	H25	R1	平成25年稚魚放流尾数 15,000千尾	平成25年度稚魚放流尾数 15,234千尾	計画通り採卵、放流が行われ、目標値を上回った。 (達成率102%)	施設の整備により、サケ放流体制が整い、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	147	作業保管施設	H25	R1	定置網 2ヶ統保管 水揚数量 517t	定置網 2ヶ統保管 水揚数量 527.3t	現在も定置網2ヶ統を行使して保管している。水揚数量は、目標を達成した。 (達成率 定置網100%、水揚数量102%)	施設の整備により、作業場及び漁具等の保管場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	149	水産物荷さばき施設	H25	R1	ホタテガイ水揚量 275トン(組合計)	ホタテガイ水揚量 157.5トン(組合計)	ホタテネット洗浄施設は、適正に利用されているが、地場採苗の減少や死貝の増加により、水揚げが減少したため、目標を下回った。 (達成率57%)	施設の整備により、ホタテ養殖に使用するネットの洗浄作業が軽減され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 ホタテのへい死等により水揚量が目標を下回っていることから、引き続き、生産量の回復による成果目標の達成に向けて指導していく。
H23	151	作業保管施設	H25	R1	ホタテ水揚量 350t ウニ(むき身)水揚量 6t	ホタテ 369t ウニ(むき身) 3.5t	①ホタテ 施設を有効に活用し、目標を達成した。 (達成率105%) ②ウニ 漁獲資源量の減少及び身入りが悪かったことにより目標を下回った。 (達成率58%)	施設の整備により、作業場及び漁具等の保管場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。ウニについては、目標値を下回っていることから、給餌対策の実施など身入り向上に向けた取組を指導していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	153	燃油補給施設	H25	R1	供給数量 ガソリン 180キロリットル 軽油 28キロリットル	供給数量 ガソリン 135キロリットル 軽油 11キロリットル	漁業者の減少等により、ガソリン、軽油ともに目標を下回った。 (達成率 ガソリン75%、軽油40%)	施設の整備により、漁業者の給油時間が短縮されるなど、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回は目標を下回る結果となっており、更なる施設の活用に向け、新規漁業者確保・育成の取組などにより、目標値を達成するよう指導していく。
H23	154	漁船保全修理施設	H25	R1	利用隻数 45隻	利用隻数 37隻	大型船の隻数減少により、保守・修繕隻数は少なくなったが、概ね目標を達成した。 (達成率82%)	漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	155	水産物荷さばき施設	H25	R1	養殖ボイル若布の集荷量 1,788トン	養殖ボイル若布の集荷量 1,264トン	ワカメ生産者が高齢化と後継者不足で年々減少し、生産量が落ち込んだことから、目標を下回った。 (達成率71%)	施設の整備により、ワカメのボイル塩蔵加工場が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。生産者の減少等により目標値を下回っていることから、生産者の確保やワカメの生産性向上等について指導していく。
H23	164	陸上種苗生産施設	H25	R1	アワビ 400万個 ヒラメ 110万尾 ホシガレイ 10万尾 アユ 3t	アワビ 398万個 ヒラメ 117万尾 ホシガレイ 0万尾 アユ 3.5t	種苗生産は概ね計画どおり実施され、会員に対して供給がなされた。 新魚種であるホシガレイについては、今後、水研・教育機構宮古庁舎が開発した種苗生産技術の提供を受け、種苗生産試験を実施していく。 (達成率 アワビ99%、ヒラメ106%、ホシガレイ0%、アユ117%)	施設の整備により、県内の栽培漁業の拠点となる種苗生産・供給体制が回復し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。種苗生産は概ね計画通りに実施しており、引き続き、補助施設が有効に活用されるよう取り組んでいく。 また、新魚種であるホシガレイについては、水研教育機構の指導を受けながら、種苗生産技術の受け入れを図っていく。
H23	173	作業保管施設	H25	R1	採介藻・漁船漁業 の水揚量 3.25t	採介藻・漁船漁業 の水揚量 2.88t	ウニ、アワビとも海況が悪く出漁回数の減少にともなう減産となったが、目標を概ね達成した。 (達成率89%)	施設の整備により採介藻漁業及び漁船漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	174	作業保管施設	H25	R1	採介藻・漁船漁業 の水揚量 2.44t	採介藻・漁船漁業 の水揚量 83.9t	採介藻漁業の水揚が減少したが、水揚数量の大きい鱈延縄漁業者並びにかご漁業者が当該施設を利用していることから目標を大きく上回った。 (達成率3,438%)	施設の整備により採介藻漁業及び漁船漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	175	作業保管施設	H25	R1	採介藻・漁船漁業の水揚 量 2.44t ワカメ水揚量 20.30t	採介藻・漁船漁業の水揚 量 15.5t ワカメ水揚量 12.5t	採介藻・漁船漁業は水揚が順調に推移し、増産となり目標を達成した。 (達成率635%) 一方、養殖ワカメの水揚量は、一部養殖業者が廃業したため、当該施設の利用者が減少したため、目標を下回った。 (達成率62%)	施設の整備により採介藻漁業及び漁船漁業の操業が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 採介藻・漁船漁業は今回、目標を上回る結果となったが、ワカメ水揚量は目標を下回ったことから、ワカメ養殖への新規参入の促進など、今後とも指導を継続していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	176	作業保管施設	H25	R1	水揚げ 98t(ホタテ養殖業)	水揚げ 101.2t(ホタテ養殖業)	ホタテ養殖生産量は概ね計画通り回復し、 目標を上回った。 (達成率103%)	施設の整備によりホタテ養殖業が再開さ れ、地域の水産業の復興に大きく寄与して いる。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	177	作業保管施設	H25	R1	水揚げ 54t(むき身カキ)	水揚げ 84.6t(むき身カキ)	カキ養殖生産量は、施設の増産体制の構 築により、目標を大きく上回った。 (達成率157%)	施設の整備によりカキ養殖業が再開され、 地域の水産業の復興に大きく寄与してい る。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	178	漁船保全修理施設	H25	R1	漁船隻数 48隻 水揚げ 30t	漁船隻数 47隻 水揚げ 28t	養殖業者1名が廃業し、隻数及び水揚量は 若干減少したものの、計画通りに施設が利 用され、概ね目標を達成した。 (達成率 漁船99%、水揚げ92%)	施設の整備により、養殖業が再開され、地 域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有 効に活用されることが期待される。
H23	179	作業保管施設	H25	R1	便益額 83,632千円	便益額 83,632千円	当初計画で保管することとしていた漁網、ロ ープ、浮子玉等を適切に保管することで、耐 用年数である5年を超え、6年間定置網漁具 を使用しており、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により定置網の保管が適切に 行われ、地域の水産業の復興に大きく寄与 している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	180	作業保管施設	H25	R1	便益額 86,917千円	便益額 86,917千円	当初計画で保管することとしていた漁網、ロ ープ、浮子玉等を適切に保管することで、耐 用年数である5年を超え、6年間定置網漁具 を使用しており、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により定置網の保管が適切に 行われ、地域の水産業の復興に大きく寄与 している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	181	水産物加工処理施設	H25	R1	便益額 257,191千円	便益額 1,009,047千円	5年間の便益は、芯抜き半製品の販売実績 が好調だったこと、芯付半製品の販売額及 び加工人夫賃が計画より少なかったことか ら、目標を大きく上回った。 (達成率392%)	施設の整備により、わかめの芯取加工が行 われ、地域の水産業の復興に大きく寄与し ている。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	182	特認事業(漁労等作業管理施 設)	H25	R1	便益額 72,600千円	便益額 72,591千円	定置網従業員の施設利用は概ね計画どお りであり、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により、自営定置の漁舎として、 地域の水産業の復興に寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に 活用されることが期待される。
H23	183	特認事業(漁労等作業管理施 設)	H25	R1	便益額 65,900千円	便益額 47,246千円	定置網従業員の施設利用は概ね計画どお りであったが、経費が計画よりも高額とな ったため便益額が下がり、目標を下回った。 (達成率72%)	施設の整備により、自営定置の漁舎として、 地域の水産業の復興に寄与している。 今回、目標を下回った結果となっており、事 業実施主体に対し、便益の向上に向けて指導 を実施していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H23	184	作業保管施設	H25	R1	水揚げ 21.1t	水揚げ 4.0t	ホタテガイの越冬貝等の死滅により生産量が減少しており、目標を大きく下回った。 (達成率19%)	施設の整備により、カキやアワビ、ホタテガイ養殖が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H23	185	生産物一次処理施設	H25	R1	養殖生ワカメ 4t 養殖塩蔵ワカメ 1,800t 養殖塩蔵コンブ 222t 天然塩蔵ワカメ 300t	養殖生ワカメ 1.6t 養殖塩蔵ワカメ 1,531t 養殖塩蔵コンブ 87t 天然塩蔵ワカメ 79t	以下の要因により目標を下回った。 養殖ワカメ:施設台数、着業者が20%ほど減少したため、減産となった。 養殖コンブ:前年度までの製品(塩蔵昆布)販売不振の理由による生産調整のため大幅減産となったことで、処理量が減少した。 天然ワカメ:繁茂状況が悪く採捕回数が減少したため減産となったため、処理量が減少した。 (達成率 73%)	施設の整備により、養殖生産物の一次処理が再開されたことで価格維持が図られ、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け指導を実施していく。
H23	195	作業保管施設	H25	R1	施設利用者15名による 年間水揚げ金額 6,920千円	施設利用者15名による 年間水揚げ金額 11,155千円	採海藻漁業及びかご・刺網漁業等の水揚げが好調であったことから、目標を大きく上回った。 (達成率161%)	養殖施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	196	作業保管施設	H25	R1	施設利用者18戸の養殖 ワカメ年間水揚げ金額 71,242千円	施設利用者18戸の養殖 ワカメ年間水揚げ金額 91,182千円	入札価格の高値推移により、目標を大きく上回った。 (達成率128%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	197	作業保管施設	H25	R1	施設利用者27戸の養殖 ワカメ年間水揚げ金額 132,320千円	施設利用者27戸の養殖 ワカメ年間水揚げ金額 216,471千円	入札価格の高値推移により、目標を大きく上回った。 (達成率164%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H23	198	作業保管施設	H25	R1	施設利用者41戸の 年間水揚げ金額 252,165千円	施設利用者41戸の 年間水揚げ金額 365,730千円	若布・昆布の入札価格高値推移により、目標を大きく上回った。 (達成率145%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	220	作業保管施設	H25	R1	付加価値向上金額 111,100千円	付加価値向上金額 162,858千円	整備後5年間で養殖わかめ、養殖こんぶのポイル加工による生産量が順調に回復したことに伴い、付加価値向上金額も積み上がったため、目標を大きく上回った。 (達成率147%)	施設の整備により、養殖ワカメ、養殖コンブの加工が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	221	作業保管施設	H25	R1	付加価値向上金額 26,600千円	付加価値向上金額 66,680千円	養殖ワカメの生産量が順調に回復したほか、塩蔵ワカメの販売単価が上昇したため、目標を大きく上回った。 (達成率251%)	施設の整備により、養殖ワカメの加工が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	222	作業保管施設	H25	R1	付加価値向上金額 79,900千円	付加価値向上金額 124,119千円	養殖ワカメの生産量が順調に回復したほか、塩蔵ワカメの販売単価が上昇したため、目標を大きく上回った。 (達成率155%)	施設の整備により、養殖ワカメの加工が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	225	作業保管施設	H25	R1	ベルトコンベアー・シュート5式 120日/年、選別台14台 150日/年、鮮度保持タンク300個 120日/年、イサダ用籠5,500個 304日/年、予備用万丈籠500個 周年	ベルトコンベアー・シュート5式 106日/年、選別台14台 106日/年、鮮度保持タンク300個 106日/年、イサダ用籠5,500個 306日/年、予備用万丈籠500個 周年	荷捌施設用機器の保管に十分活用されているものの、機器によっては目標を下回った。 (達成率 ベルトコンベアー・シュート88%、選別台71%、鮮度保持タンク88%、イサダ用籠101%、予備用万丈籠100%)	施設の整備により、荷捌施設用機器の保管等が可能になり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回機器によっては保管日数の目標を下回る結果となっているが、概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	226	水産物荷さばき施設	H25	R1	(1)入庫数量 取扱量 14,000ケース(210トン) (2)入札展示 3月2回、4月2回、5月3回、 6月1回	入庫数量 7,016ケース(105トン) 入札展示回数 9回	入札回数は目標値を上回ったが、生産量の減少により、入庫数量が目標を下回った。生産量の増大に向けて、ワカメの刈り取り期間の延長などの対策を実施やコンブの取扱などににより、入庫数量の増加を図っていく。 (達成率 入庫数量50%、入札展示回数113%)	施設の整備により、養殖生産物の荷さばき場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。入庫数量については、取扱量増加に向け、生産量増大の取組が必要であることから、事業実施主体による対策の実行について、引き続き指導していく。
H24	227	作業保管施設	H25	R1	年間利用日数 365日	年間利用日数 365日	漁具等の保管に使用し、目標を達成した (達成率100%)。	施設の整備により養殖漁業等の作業効率向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	228	作業保管施設	H25	R1	網等漁具の保管日数 365日	網等漁具の保管日数 365日	網入れ後、絶えず漁網が保管されており、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により、定置用漁網の保管及び網修繕作業が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	229	水産物荷さばき施設	H25	R1	年間水揚金額 54,068千円 当該施設で取扱う生産物(養殖ワカメ・コンブ、ウニ、天然海藻類)	年間水揚金額 35,576千円	漁業者の高齢化により生産量自体が減少しているほか、近年は、海水温が高めに推移し、餌となるコンブ等が育たなく、ウニが極端な不漁となったことから、目値を下回った。 (達成率66%)	施設の整備により、養殖生産物の荷さばき場所が確保され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標値を下回っていることから、漁業者の確保・育成、省力化のほか、給餌対策等ウニの身入り向上に向け指導していく。
H24	230	作業保管施設	H25	R1	施設の利用者による生食用カキ年間水揚げ金額 94,603千円	施設の利用者による生食用カキ年間水揚げ金額 101,158千円 (館ヶ崎)84,383千円 (太田前)16,775千円	太田前利用者1名が死亡し漁業を廃業した為、太田前は計画した金額を下回ったものの、館ヶ崎は計画を上回ったことから、全体では目標を上回った。 (達成率106%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	231	作業保管施設	H25	R1	施設を利用する4戸によるカキ年間水揚げ金額 24,642千円	施設を利用する4戸によるカキ年間水揚げ金額 55,878千円	積極的に市場を開拓すると共に、市場オーダーに応じた出荷に努めた結果、目標を大きく上回った。 (達成率227%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	232	作業保管施設	H25	R1	施設の利用者による カキ年間水揚金額 100,583千円	施設の利用者による カキ年間水揚金額 142,449千円 (上清水)100,996千円 (下清水)41,453千円	下清水は鮮カキ、原貝出荷は、養殖施設への船舶接触事故により生産物被害が生じたため、計画目標値を下回ったが、上清水は市場開拓した生食用殻付牡蠣が大幅に目標値を上回ったことから、清水全体では目標を大きく上回っている。 (達成率142%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。下清水では平成30年度は事故により目標値を下回ったが、翌年度は目標値にほぼ達している状況にあり(99.9%)、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	235	作業保管施設	H25	R1	こんぶをボイル塩蔵加工 処理した半製品の取扱数 量 415t	こんぶをボイル塩蔵加工 処理した半製品の取扱数 量 310.5t	原料の確保が厳しい状況が続いており、目標を下回った。 (達成率75%)	施設の整備により、こんぶのボイル塩蔵加工が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の増大に向け指導を実施していく。
H24	236	陸上種苗生産施設	H25	R1	年間種苗生産個数 150万個	年間種苗生産個数 150万個	毎年順調にあわび稚貝150万個を種苗生産し、次年度の放流に向けて蓄養が行われ、目標を達成した。 (達成率100%)	施設の整備により、アワビ種苗の放流を早期に再開し、切れ目のないアワビ資源造成に努力したことで、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	237	環境施設	H25	R1	のべ年間利用者数 2,809人 のべ年間利用回数 8,427回	のべ年間利用者数 1,835人、 のべ年間利用回数 5,505回	ワカメボイル加工施設の作業従事者数の減少に伴って延べ利用者数が減少し、目標を下回った。 (達成率 人数65%、利用回数65%)	施設の整備により、ワカメ加工の効率化が加速され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、今後とも水産業、海業等の振興により、水産関係者や交流人口の増加に向けて取り組む。
H24	238	水産物蓄養施設	H25	R1	年間取扱量 養殖アワビ 0.4トン 天然アワビ 9.5トン ウニ・ホヤ 30.0トン	年間取扱量 養殖アワビ 0.1トン 天然アワビ 5.5トン ウニ・ホヤ 27.0トン	ウニ及びホヤについては、概ね目標を達成したが、養殖・天然アワビ、ウニの餌となる天然コンブの不足により目標を下回った。 (達成率 養殖アワビ25%、天然アワビ58%、ウニ・ホヤ90%)。	施設の整備により流通体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 令和元年度はアワビ、ウニの餌となる天然コンブの不足により目標値を下回ったが、取扱量の増加により、補助施設が有効に活用されるよう、指導を実施していく。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業完了年度	評価年度	評価の結果			
計画年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の評価結果
					目標値	現状値		
H24	239	漁業作業軽労化機能整備	H25	R1	年間利用回数 小型定置・磯建網漁業 200回 わかめ・ほたて養殖 50回 刺し網漁業 45回	年間利用回数 小型定置・磯建網漁業 243回 わかめ・ほたて養殖 42回 刺し網漁業 10回	①小型定置・磯建網漁業 小型定置網等の漁具等の積み下ろしに使用し、目標を大きく上回った (達成率122%)。 ②わかめ・ほたて養殖 休業中の漁業者がいたため、目標を若干下回ったが、概ね目標を達成した。 (達成率84%) ③刺し網漁業 刺し網漁業を営む漁船漁業者の減少や休業のため、目標を大きく下回った。 (達成率22%)。	施設の整備により漁業作業が軽労化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 令和元年度は目標値を下回ったが、事業実施主体に対し利用率の向上に向け指導を実施していく。
H24	241	特認(漁労等作業管理休養施設)	H25	R1	定置水揚げ量 600トン	定置水揚げ量 480トン	近年のサケ不漁のため、水揚げは減少しているものの、概ね目標を達成した。 (達成率80%)	施設の整備により定置漁業を再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 近年のサケの不漁により目標値を下回ったものの、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	244	水産物鮮度保持施設	H25	R1	施設を利用したカキ・ワカメ・コンブ年間水揚げ金額 216,700千円	施設を利用したカキ・ワカメ・コンブ年間水揚げ金額 115,171千円	剥き身かきの数量が減少したことにより、目標を下回った。剥き作業ができる者の確保が年々厳しくなっており、さらに価格が安定している殻付牡蠣の生産にシフトしている状況にある。 (達成率53%)	施設の整備により養殖生産物の鮮度保持が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。成果目標の達成のためには、カキ剥き作業従事者の確保が必要であることから、従事者の育成のほか、協業化等の作業体制の見直し等について指導していく。
H24	245	作業保管施設	H25	R1	施設を利用する8戸による養殖カキ年間水揚げ金額 44,880千円	施設を利用する8戸による養殖カキ年間水揚げ金額 48,647千円	計画した時点の8名の利用者は、おおむね計画通りの水揚げで推移したことから、目標を達成した。 (達成率108%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	249	特認(漁労等作業管理休養施設)	H25	R1	定置網水揚げ数量 2,008,998kg 定置網水揚げ金額 403,414,570円	定置水揚げ数量 1,014,715kg 定置水揚げ金額 311,719,285円	近年のサケの水揚げ不漁により目標を下回った。 (達成率 数量51%、金額77%)	施設の整備により定置漁業を再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回、成果目標を下回ったことは、サケ資源の減少によることからやむを得ないと判断する。
H24	250	養殖施設	H25	R1	ワカメの生産量 51トン	ワカメの生産量 148.5t (メカブ 2.1t)	・定置船1隻にワカメ刈取り船上装置を設備導入して省力化を図り、採取期間内に効率的に全量採取した。また病虫害等の被害もなく順調に生育したことから、目標を大きく上回った。 (達成率291%)	施設の整備によりワカメ養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H24	251	養殖施設	H25	R1	養殖生産量 97t	養殖生産量 76t	・ホタテ貝の貝毒により出荷出来なかった。 ・併せて夏の水温上昇にともない滅死する貝もあり昨年の36%にとどまった。 イシカゲ貝について本年度は3年前種苗採取状況が思わしくなかった為、数量減になったことから、目標を下回った (達成率78%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回は目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大により、目標を達成するよう指導していく。
H24	252	漁船保全修理施設	H25	R1	年間利用隻数 43隻	年間利用隻数 131隻	漁船の上架作業等に使用し、計画を上回る利用がされたことから、目標を大きく上回った。 (達成率305%)。	施設の整備により漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H24	258	水産物荷さばき施設	H25	R1	5年間の総便益額 366,030千円	5年間の総便益額 251,097千円	秋さけの不漁により魚市場での取扱数量が減少したため、目標を下回った。 (達成率69%)	施設の整備により、魚市場機能が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、取扱数量の増加に向け指導を実施していく。
H24	259	漁具洗浄施設 (野田漁港)	H25	R1	—	—	洗浄施設の復旧により震災前と同様に利用が図られ、漁具洗浄時間が短縮された。	施設(管理室、給電設備等)の整備により、漁港利用者の労働環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	270	漁船保全修理施設	H25	R1	上架隻数 22隻	上架隻数 18隻	施設は適切に利用しており、概ね目標どおりの利用となった。 (達成率82%)	施設の整備により、漁船の保守、修繕体制が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画年度	番号	計画内容 施設名	事業完了年度	評価年度	評価の結果			
					成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	275	養殖施設	H25	R1	ホヤ 7.5トン ホタテ 8.2トン 一粒カキ 64.5千個 ※ 吉里吉里地区計	ホヤ 0t ホタテ 17.5t 一粒カキ 6.5千個	①ホヤ 漁協が行う自家採苗が失敗したため、種苗配給ができず水揚げに至らず、目標を大きく下回った。 (達成率0%) ②ホタテ 地種、北海道搬入貝が順調に成育したことから、目標を大きく上回った。 (達成率213%) ③一粒カキ 大手取引先の業績悪化に伴い、出荷量が減少したことから、目標を大きく下回った。取引先の確保を広げ販路拡大を図る。 (達成率10%)	施設の整備により各種養殖業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標値を下回っている養殖種については、生産技術向上又は販路の確保に向けて支援していく。
H25	276	養殖施設	H25	R1	整備した施設による カキ・ホヤの生産量 8,385kg	整備した施設による カキ・ホヤの生産量 7283.6kg (カキ)6,142.6kg (ホヤ)1,141kg	大船渡湾西部海域の貝毒により、出荷が規制されたが、概ね目標を達成した。 (達成率87%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。概ね目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	277	ふ化施設	H25	R1	さけ稚魚生産尾数 15,500千尾	さけ稚魚生産尾数 15,975千尾	平成28、29年度は台風10号被害で放流数が減少したもののその後回復し、令和元年度は予定を上回る数の種苗生産し、目標を達成した。 (達成率103%)	サケふ化場の整備により、サケ資源造成が早期に再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	278	海中飼育施設	H25	R1	さけ稚魚海中飼育 2,000千尾	さけ稚魚海中飼育 1,500千尾	近年親魚の河川遡上が減少し、種卵確保が厳しく、海中飼育用の種苗確保が困難となっており、目標を下回った。 (達成率75%)	施設の整備によりサケ資源造成が早期に再開されたことで、地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、放流数の回復・増大に向け指導を実施していく。
H25	289	養殖施設	H25	R1	ワカメ、コンブの生産量 116トン	ワカメ、コンブの生産量 53トン	整備台数20台すべてを行使して、ワカメ、コンブの生産を行ったが、秋の高水温でワカメ種苗生産が不調であったこと、着業者の生産不安定であったことから、目標を大きく下回った。 (達成率46%)	施設の整備により、早期に養殖業が再開されたことで地域の水産業の復興に大きく寄与している。今回目標を下回る結果となっており、事業実施主体に対し、生産量の回復・増大に向け指導を実施していく。
H25	290	ふ化施設	H25	R1	年間保管実績 サケ稚魚飼料 41トン マス稚魚飼料 2トン その他資材 一式	年間保管実績 サケ稚魚飼料 42トン マス稚魚飼料 2トン その他資材 一式	飼料、資材等の保管に使用し、目標を達成した (達成率100%)。	施設の整備によりサケふ化・放流事業が再開し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。

(別紙)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
H25	291	ふ化施設	H25	R1	さけ稚魚生産尾数 5,400千尾	さけ稚魚生産尾数 5,400千尾	計画通り飼育池を使用しており、目標を達成した。 (達成率100%)	ふ化場の飼育池壁面の塗装が行われたことにより、サケ稚魚の種苗生産が再開され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	292	海中飼育施設	H25	R1	大型稚魚放流尾数 1,000千尾	大型稚魚放流尾数 1,000千尾	計画的な実施により目標を達成した。 (達成率 100%)	施設の整備により、サケ放流体制が整い、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
H25	293	ふ化施設	H25	R1	捕獲施設使用日数 92日	捕獲施設使用日数 94日	当初計画通りに施設を利用し、目標を達成した。 (達成率102%)	施設の整備により、サケ放流体制が整い、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。